

特別養護老人ホーム 第二天神の杜

きずな

- 絆 -

第 47 号

2023年6月30日発行



(春のお茶会：小川のテラスにて)

第二天神の杜 家族の会
特別養護老人ホーム 第二天神の杜

施設からのご挨拶

施設長 千葉 功貴

2023年5月8日から新型コロナウイルスは2類から5類へ移行となり、早や2か月が経とうとしています。マスク着用も個人の判断となり、いろいろなその他の制限が緩和される等、街には人があふれ活気が戻り、私たちが長く待ち望んでいた「元の生活」に戻りつつあります。

2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症で途絶えていた交流やイベントが直接顔を合わせて「言葉を交わすことの大切さ」を実感している方も多いのではないのでしょうか。

第二天神の杜での家族面会も以前と同じようにと期待されている家族様も多いと思います。

しかし「高齢者施設等については、重症化リスクを有する高齢者が多く生活することも考慮してください。」という通知があり、以前と変わらず感染対策の対応をすることになっています。要するに感染法上の「5類感染症」ということです。

一方で5月8日以降、新型コロナウイルス患者の方は、法律に基づく外出自粛は求められません。外出を控えるかどうかは、個人の判断に委ねられることになっています。正直、世間と高齢者施設の対応の違いに私たち福祉施設で働く職員は、困惑しています。

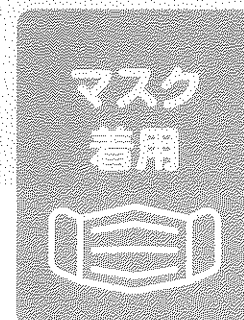
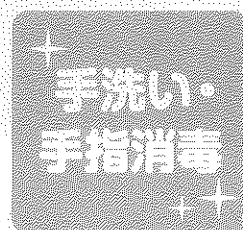
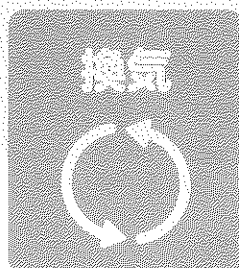
新型コロナウイルス感染症の症状自体は発症2日前から発症後7～10日間は感染性のウイルスを排出し、発症後3日間は、感染性のウイルスの平均的な排出量が非常に多く、5日間経過後は大きく減少、特に発症後5日間は他人に感染させるリスクが高く警戒が必要です。その後、排出されるウイルス量は発熱やせきなどの症状が軽快するとともに減少します。しかし、症状軽快後も一定期間ウイルスを排出することも確認されています。

施設としては新型コロナウイルス感染症の流行等の情報収集をしながら、適切な対応をとってまいります。そしていつかすべての制限が解除されることを期待しています。

ご家族の皆様には、何かとご不便おかけしますが、引き続きご協力とご理解のほどよろしくお願いいたします。

施設での面会時や受診の付き添い時に体調不良などございましたら前もってご連絡ください。

また家族様に新型コロナウイルス感染症の発症の方がおられましたら面会や受診等をご遠慮いただければと思います。





施設の活動報告



4月2日 お花見 お茶会

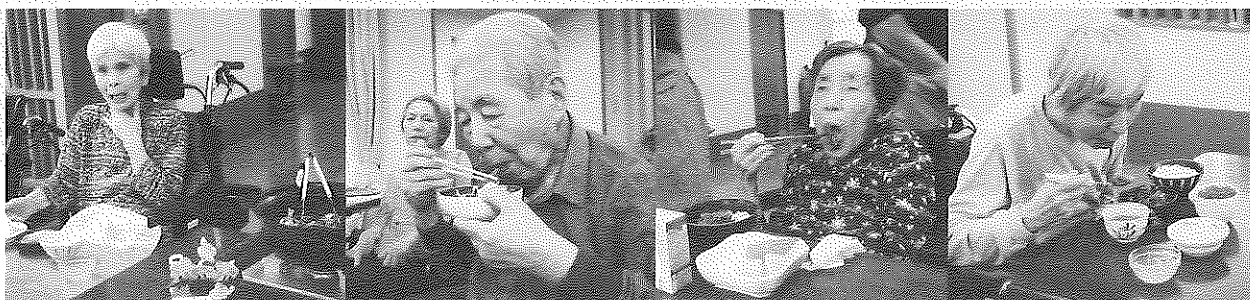
好天に恵まれ、やわらかい日差しの中、1階の小川のテラスにて入居者の皆様にお花見とお茶会を楽しんでいただきました。

この日は、職員総出。入居者の皆様がお花見を堪能している姿をみてとても嬉しい気持ちになりました。



6月1日 第二天神の杜開設記念日の催し

第二天神の杜は創設から丸13年！今日は開設記念日ということで、厨房業者の名阪食品の方に各ユニットへ出向いていただき、入居者の皆様の目の前で「すき焼き」を作っていただきました。いつもとは違う雰囲気、最初は少し緊張されていましたが、リビング中にすき焼きのいい匂いが漂い出すと、自然と笑顔が多くなり、「やわらかいね〜」「美味しい！」と舌鼓みしておられました。



ユ ニ ツ

わかくさ

4月27日 天ぶら
揚げたての天ぶらを美味しく
いただきました！

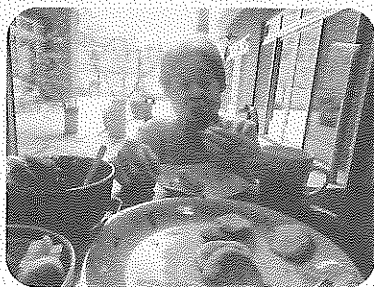


4月29日 テラスで散歩
天気の良い日に藤の花を見なが
らゆっくり過ごしました！

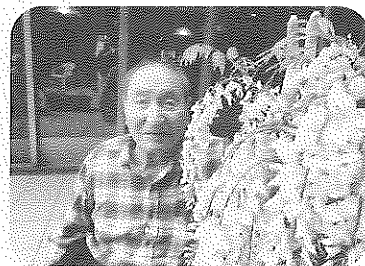


さわらび

4月19日 じゃがいも
入居者様にも手伝っていた
だき、皆で美味しくいただき
ました。



4月29日 小川のテラスへお散歩
綺麗な藤の花が咲いていたので、お
散歩がてら皆で見に行きました。



ボランティア
の高橋様夫婦
が丹精込めて
育てられた白
い藤です。



なでしこ

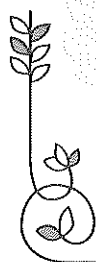
3月21日 中馬様
誕生日会を開催しました。



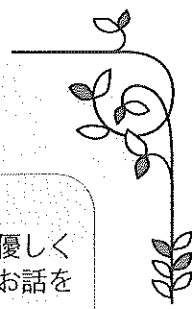
4月3日 横山茂様
卒寿を皆でお祝いをしました。



5月23日
奥様との思い出のおちょこ
で晩酌。



ト 報 告



まきよう



日常の一コマ
ふとした瞬間、優しく
手を取り合ってお話を
しておられます。



4月6日・17日
筒井様、丸山様、誕生日
誕生日に美味しいケーキを
召しあがり、皆でお祝いを
しました。

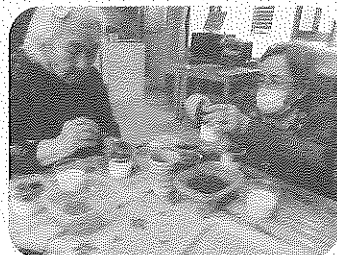


はぎ



5月19日 あじさいゼリー
みんなで一緒に作り美味しくい
ただきました。

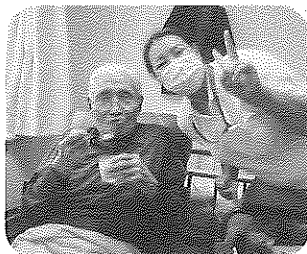
4月14日 大楠様、上田様
合同誕生日会
手作りのバラ寿司とケーキで
お祝いしました。



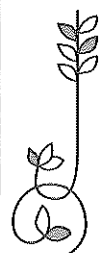
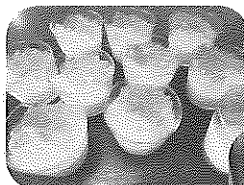
こぐり



5月3日 いなり寿司作り
異動してきた職員の歓迎会で
いなり寿司を作りました。



5月26日 紫陽花ゼリー
見た目が鮮やかで美味しい!

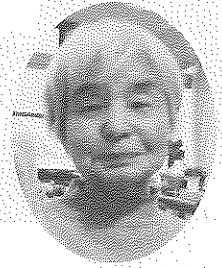


ふれあい広場

このコーナーでは、家族様や入居者様のお話を中心に取り上げています。家族様から寄せていただいたお話をご紹介します。

母 古川 敬子のこと

古川 寛



母が第二天神の杜に参りましてから早や1年以上でございます。大変手厚くお世話していただき、誠にありがたく存じます。

さて、実は皆さま、長岡京市では毎日、夕方になりますと『ふるさと』のチャイムが鳴りますが、あれは母たちが市に働きかけて実施されるようになったとのことでございます。

若かりし頃の母はと言いますと、慈善団体や保護司、今でいうところのPTAなど、様々な団体に積極的に関わっては、その先頭に立つアグレッシブな方でした。父が急逝し、それに乘じたかのように家族が次々にトラブルに見舞われて窮地に陥りました際も、ふがないわたしたち息子たちに代わって先頭に立ち、最終的に解決してくれました。

わたしにとって、そんな母は「大丈夫な人」であり、その『ふるさと』の話を聞かされた当時のわたしも、いつものこと、母の数多いエピソードの一つとして「ふ〜んスゴイねえ」と流しておりました。

ただ、今にして思えば、当時の母は『ふるさと』について「誰もが皆に、帰る“ふるさと”があつて欲しいという想いを込めた」と、単なるスゴイ話としては、何とも神妙なことも語っておりました。正直、第二天神の杜にお世話になります際、今となりましてはトイレに苦勞するほど足腰が弱まり、齡相應に曖昧になるでしょうが、もともと「大丈夫な人」の母であれば、なんだかんだでも第二天神の杜でも上手くやっていたのではと、漠然と感じておりました。

しかし、実際の母はと申しますと、齡と共に大変氣弱になっており、過去の心残りを氣に病む話を聞かされますと、母が実は弱い孤独な部分も抱えており、他人の孤独に共感する氣持ちを持っていたと改めて知ることができました。

今の母から聞かされております心残りとは、だいぶ記憶が曖昧になっておりますものの、父が急逝したために一人で人間關係に苦勞させられた話、母の幼かった頃に戦争の被害で家族を失った話、そして慈善団体で関わった保護された児童を未だに心配する話。

そういえば、母と父との出会いは、天涯孤独同然であつた父と、戦争で家族を失った自分を重ね合わせたことから始まったものであるとも聞かされたことがございます。

母が申しておりました「誰もが皆に、帰る“ふるさと”があつて欲しい」とは、母のまだ、わたしにとって「大丈夫な人」でありました頃に垣間見えました、母の孤独で弱い部分でございました。

思えば、そのような母に「大丈夫な人」とは、なんとも迂闊で恥ずかしい話でございます。

第二天神の杜の職員の皆さまが、母の身辺のお世話だけでなく、息子であるわたしに代わって母の曖昧な話にも熱心に耳を傾けてくださるのは、大変ありがたく存じます。大変ご面倒をおかけすることになるかと存じますが、引き続きお力添えを何卒よろしく願いいたします。さて、最後に余談でございますが、うちの息子はまだ赤ちゃんでした頃、その『ふるさと』を聞くのが大好き…を通り越して強い拘りを持っておりまして、「母（妻）と必ず一緒に聞く」という自分ルールを課しておりました。それで時間になりまして『ふるさと』が鳴りだしますと、大慌てで妻のもとへ駆けつけて、妻に甘えながら一緒に聞いておりました。うっかり遅れて聞き逃してしまった、または妻と聞いたかったのに間に合わなかった場合など、それはもう大変な騒ぎになったものです。

私は、『ふるさと』の曲を聴きながら不思議そうに夕焼け空を指差す息子が微笑ましく、「あれはパパのお母さんが鳴らすように決めた曲で…」と、いつか妻と息子に意外であろうトリビアを披露してあげたいと思っておりました。ええ、本当にそう思っておりましたものの、自分ルールが破られてギャン泣きする息子の相手で四苦八苦させられておりました妻が『ふるさと』が鳴る度に身構えるようになったのを見ますと、「今うっかり真相を話すと家族が大変なことになってしまうのでは？」と思いとどまり、現在に至ります。

いつか母の葬儀の時に真相を明かし、妻にお詫びと感謝を述べねばと温めていたネタでございますが、せっかくの機会でございますので、この場をお借りさせていただきました。

第二天神の杜と母の導き合わせは、妻が尽力してくれたおかげであります。母への気持ちを寄稿させていただきます共に、妻にも感謝の意を捧げたいと思います。

家族の会活動報告

2023年度 家族の会役員紹介

会 長：福田 竜造 (ユニットさわらび)	副 会 長：吉原 寿美 (ユニットききょう)
会 計：岡野 眞理 (ユニットわかくさ)	会計監査：林 昌也 (ユニットはぎ)
幹 事：中下 八重 (ユニットこぐり)	幹 事：辻 芳美 (ユニットなでしこ)

2023年度 家族の会年間計画

※新型コロナ感染症の状況をみながら、一つでも多くの事業ができるよう取組んでまいります。

- ◇お茶会 入居者の皆様へお饅頭の贈呈 (4月2日)
- ◇夏祭り (検討中)
- ◇ユニット懇談会 7月以降順次開催予定
- ◇敬老会お饅頭の贈呈 (9月18日)
- ◇クリスマスケーキの贈呈 (12月24日)
- ◇お正月鏡餅、正月飾りの生花贈呈 (1月1日)
- ◇家族の会勉強会 新型コロナウイルス感染症の状況をみながら検討していく
- ◇クリーンアップ作戦 下半期の役員会後に役員と職員で行う
- ◇年末大掃除の協力 新型コロナウイルス感染症の状況をみながら検討していく

☆ 2022年度決算について（報告）

収入の部では、天神の杜で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことにより、大きな影響を受けました。

介護保険事業収入は777,532千円で、目標額には大きく届かなく、対前年度比では9,008千円の減額となりました。なお、昨年10月から家族の会の皆様に給食費の改定をお願いいたしました収入がなければ、さらに大きな減額となっているところです。ありがとうございました。

支出の部では、人件費が524,053千円で、厳しい財務状況を踏まえ職員賞与の支給率の引き下げなどを行い、対前年度比8,759千円の減額となりました。

一般経費支出は244,459千円で、水道光熱費や給食委託費が大幅に増えたことから、対前年度比は9,671千円の増額となりました。

事業資金収支差額は、前年度に比べ1,195千円少ない31,147千円と厳しい内容となりました。

前年度に引き続き、プロジェクトチームで更なる収入の増加や経費縮減等に取り組み、財務状況の改善を図ってまいります。

なお、この決算については、6月10日の理事会並びに24日の評議員会で承認されましたことをご報告いたします。

【社会福祉法人長岡京せいしん会 2022年度 決算報告 抜粋】

2022年度 社会福祉法人 長岡京せいしん会 決算報告書
(自) 2022年4月1日 (至) 2023年3月31日

単位：千円

勘定科目	法人合計	社会福祉事業			公益事業
		天神の杜	第二天神の杜	予防型デイ	居宅介護支援事業所
●事業活動による収支					
介護保険事業収入	777,532	421,564	322,162	15,365	18,441
その他の事業収入	12,593	0	12,593	0	0
補助金収入	9,098	5,080	3,814	166	38
その他の収入	6,842	4,399	2,171	132	140
事業活動収入計①	806,065	431,043	340,740	15,663	18,619
人件費支出	524,053	312,190	195,747	0	16,116
一般経費支出	244,459	129,913	107,831	5,446	1,269
その他の支出	6,406	1,859	4,428	63	56
事業活動支出計②	774,918	443,962	308,006	5,509	17,441
事業活動収支差額③=①-②	31,147	▲ 12,919	32,734	10,154	1,178
●施設整備等による収支					
施設整備等収入計④	7,198	1,590	5,608	0	0
施設整備等支出計⑤	72,909	33,016	39,799	3	91
施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	▲ 65,711	▲ 31,426	▲ 34,191	▲ 3	▲ 91
●その他の活動による収支					
その他の活動収入計⑦	71,058	41,138	29,920	0	0
その他の活動支出計⑧	30,976	1,076	17,900	12,000	0
その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	40,082	40,062	12,020	▲ 12,000	0
当期資金収支差額合計⑩=③+⑥+⑨	5,518	▲ 4,283	10,563	▲ 1,849	1,087

社会福祉法人 長岡京せいしん会 住所 〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺竹ノ下19番地
特別養護老人ホーム第二天神の杜 Tel (075) 959-1220 (代表) Fax (075) 957-2112

ホームページアドレス <http://www.tenjin-no-mori.or.jp>

[掲載する内容、写真に関しては、あらかじめ家族様より許諾を得て掲載させていただいております。]